

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

インターンシップⅡは3年次夏季以降にインターンシップ（1日仕事体験等を含む）に参加しようとする学生のための授業である。インターンシップは、受講者自らが受入先を選択し、応募し、採用されて初めて参加可能になる。このことから、授業では受講生が実際にインターンシップに参加するため準備等の指導を行う。なお、授業は事前指導と、インターンシップを経験した学生の事後指導とに分かれ、6月から夏季休業中にかけて、一定の要件を満たしたインターンシップへの参加を単位取得の前提とする。また、民間企業にて採用人事を経験している教員が職種や業界についての基礎知識を講義し、さらに応募（エントリー）に際しては助言や指導を行う。

授業計画

| | | |
|------|------------------------------------|------------------------------------|
| 第1回 | 事前指導 | 事前ガイダンス（インターンシップⅡの進め方）とインターンシップの意義 |
| 第2回 | | 応募書類の作成準備①（自己分析） |
| 第3回 | | 応募書類の作成準備②（自己PR） |
| 第4回 | | 実習を想定したグループワーク |
| 第5回 | | 実務からみた職種と業界 |
| 第6回 | | 就活サイトへの登録と利用方法 |
| 第7回 | | 応募先の検索①（検索方法と応募先の検索） |
| 第8回 | | 応募先の検索②（応募先の検索と応募書類） |
| 第9回 | | 応募書類の作成③（自己PRと志望動機など） |
| 第10回 | | インターンシップを実施する上でのマナー①（ビジネスマナー） |
| 第11回 | インターンシップを実施する上でのマナー②（誓約書や実施条件等の確認） | |
| 第12回 | 事後指導 | 実習日誌の整理と要件の確認等 |
| 第13回 | | 実習後の反省や今後（就活）に向けての課題の検討 |
| 第14回 | | インターンシップ報告書の作成準備・プレゼンの準備 |
| 第15回 | | （報告会）プレゼンテーション |
| 第16回 | | 「インターンシップⅡ 成果報告書」の提出 |

※ 内容はおおよその目安であり、適宜変更する可能性があります。

到達目標

インターンシップ（1日仕事体験を含む）に応募し、実習を通じて就業意識を向上させることにより就職活動に向けた準備を行うこと。

履修上の注意

- ・第1回目の授業に必ず出席すること。希望者が多い場合には、人数制限を行うことがある。
- ・単位取得のためには、通常の授業への出席に加え、
 - ①一定の要件を満たしたインターンシップに参加すること、②事後指導を受けることが条件になる。
 なお、実習先は、一部紹介可能な場合があるが、マッチング等の問題で必ずしも実施に至るわけではない。したがって、自らが受入先を探し、要件を満たす実習に参加しなければならない。
- ・授業の趣旨から、卒業年次生および一般企業に就職を希望しない学生は登録を遠慮すること。

予習・復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手すること。
- ・復習：授業後に職種・業界・企業研究を行うこと。

評価方法

- 上記の通り、一定の条件を満たすインターンシップに参加したことを条件としたうえで、
- ・平常点を50%と実習50%（インターンシップの実習日誌、プレゼンテーション、レポートなど）を目安として総合的に評価する。
 - ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応する。
詳しくは第1回目の授業で説明する。

テキスト

- ・特に使用しない。